

有明3ひがた

ラムサール市民だより

荒尾干潟・東よか干潟・肥前鹿島干潟

第2号・平成29年5月発行

発行：環有明海ラムサール市民だより

実行委員会

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会（熊本県荒尾市）
 東与賀まちづくり協議会（佐賀県佐賀市）
 まえうみ市民の会（佐賀県鹿島市）

協力機関 荒尾市環境保全課、佐賀市環境政策課、
 鹿島市ラムサール条約推進室

編集担当：荒尾干潟保全・賢明利活用協議会
 年3回発行・各施設にて配布・PDF配信

『有明3ひがた』に期待すること

名執芳博 NPO 法人日本国際湿地保全連合（WIJ）会長

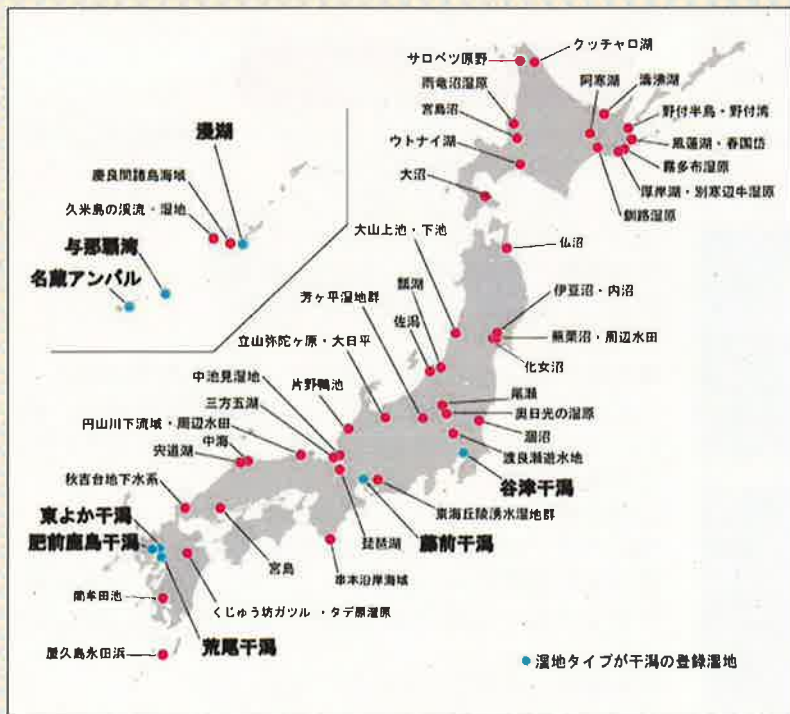


有明海にはラムサール条約に登録されている干潟が3つありますが、干潟ごとに特徴があり、そこに生息・生育する生物や干潟の活用方法なども多様です。各干潟では、ラムサール条約に登録されたことをきっかけに、干潟の保全や賢明な利用を目指した活動が行政や NGO、研究者、漁業者、地元のボランティアなどの多くの人の力で行われるようになってきています。特に、干潟を活用した学習活動が積極的に行われるようになり、その活動を通して子どもたちの湿地間交流が活発になってきています。

荒尾干潟、東よか干潟、肥前鹿島干潟の3つの干潟が、有明海の湿地保全・賢明な利用の促進に向けた活動の中心的存在となり、互いに協力・切磋琢磨しあうことで、より活発な動きが生まれ、有明海全体、日本各地、さらにはアジア地域の干潟が人々の暮らしの身近な場所となり、保全されることが期待されます。



荒尾干潟で実施した干潟学習の様子（主催：WIJ、協力：荒尾市、鹿島市子どもラムサール観察隊）



日本国内のラムサール条約登録湿地

ラムサール条約とは

湿地は多様な生物を育み、人々に様々な恵み（生態系サービス）をもたらしてくれています。しかし、湿地は干拓や埋立て等の開発がされやすく、世界中を見ると、1900年以降、少なくとも64%の湿地が姿を消しています。

このような湿地を保全するために、1971年2月2日ラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）が採択されました。現在、169ヶ国が加盟し、2,264箇所の湿地が国際的に重要であるとして登録されています。

日本の登録湿地

現在、日本国内には50箇所のラムサール条約登録湿地があります。湿原や湖沼、河川や水田などの淡水域や汽水域、干潟やマングローブ林、サンゴ礁などの沿岸域など、様々なタイプの湿地が登録されています。主な湿地タイプが干潟の登録湿地は、荒尾干潟、東よか干潟、肥前鹿島干潟をはじめ、8箇所あります。



荒尾 — 干潟 —

活動状況

世界湿地の日 2017 記念行事「シギ・チドリ類の渡りの今～荒尾干潟で希少種ヘラシギと普通種ハマシギを守る～」が2月5日に開催されました。

午前中の部「ラムサール登録荒尾干潟を歩こう」はあいにくの悪天候で開始後すぐ中止となりました。

午後からは荒尾総合文化センターで渡り鳥、特にヘラシギなどのシギ・チドリ類に関する報告、講演会がありました。マレーシアから Pyae Phyo Aung さん、EAAFP 事務局（韓国）から市川智子さんら、国外からの講演者もいらっしゃいました。また、荒尾干潟について日本野鳥の会熊本県支部の安尾征三郎さん、東よか干潟、肥前鹿島干潟について日本野鳥の会佐賀県支部の中村さやかさんがそれぞれ報告を行いました。



Pyae Phyo Aung さん



市川智子さん

4月14日（金）に「荒尾干潟のベントス研修会」を日本国際湿地保全連合（WIJ）の協力を得て開催しました。研修会では、みちのくベントス研究所の鈴木孝男所長から、干潟の重要性やそこに生息するベントスについての講義を受けた後、蔵満海岸で干潟市民調査を行いました。干潟の表層、地中にあるベントスを採集して、最後に名前調べ（同定）作業をしました。

調査ではミドリシャミセンガイやハマグリなど46種が観察されました。ベントスの名前を調べるのは、非常に難しく、専門家の人たちの助けを借りて、なんとか調べることができました。



鈴木孝男所長による講座



調査の様子



名前を調べています



ミドリシャミセンガイ

今回の一枚



4月16日に日本野鳥の会熊本県支部主催の探鳥会が開催されました。荒尾干潟保全・賢明利活用協議会では初めての試みとして、手作りの貝殻詰め合わせを「荒尾干潟の贈りもの」として参加者に配布したほか、コーヒーや紅茶など飲み物の提供を行いました。参加者にはとても好評で、初めての試みとしては大成功でした。



野鳥飛来状況

4/25（火） 干潮/8:12 満潮/20:39

今年は渡来が遅いようです。

シロチドリ 12羽、メダイチドリ 37羽、ダイゼン 77羽、キョウジョシギ 56羽、トウネン 32羽、ハマシギ 609羽、ミコビシギ 7羽、キアシシギ 37羽、オオソリハシギ 52羽、チュウシャクシギ 316羽、ダイサギ 2羽、コサギ 13羽、アオサギ 1羽、キンバト 2羽、カワラバト 8羽、スズメ 3羽、ウミネコ 3羽、カモメ 2羽、セグロカモメ 2羽、ハシボソガラス

観察会・関連行事のお知らせ

●JR九州ウォーキング「ラムサール条約湿地の荒尾干潟と火の国長洲金魚まつり」

日時：5月3日（水・祝）

スタート受付時間：8:30～11:15

受付場所：南荒尾駅～ゴール：長洲駅

問合せ：荒尾駅 0968-63-0063

●荒尾干潟ジュニアレンジャー（仮）を募集中！

荒尾干潟のすばらしさを、1年間かけて学習し、その後そのすばらしさを広げていく活動をする子どもを募集します。

応募資格：小学4年生～小学6年生

申込方法：申込書に必要事項を本人が書いて、荒尾市環境保全課まで申し込んでください。詳細、申込用紙のダウンロードは荒尾市のホームページをご覧ください。

募集期限：平成29年5月31日（水）

問合せ：荒尾市環境保全課 0968-63-1386



東よか — 干潟 —

活動状況

●干潟の大空に舞え！

第4回新春親子凧揚げ大会が、東与賀干潟よか公園で2月26日に開催されました。町内外から28組の方が手づくりの凧で参加をしていただき、干潟の大空に高く舞い上がりました。大会終了後、参加者全員にぜんざいが振舞われ大変喜ばれました。来年はラムサール条約湿地登録地からの参加を頂きもっと交流が深まればと思っています。



野鳥飛来状況

4月1日(土)
満潮時刻 11:51 満潮位 5.2
ダイゼン 1,020羽 メダイチドリ 90羽
ハマシギ 5,950羽 アオアシシギ 42羽
ダイシャクシギ 103羽
クロツラヘラサギ 27羽
ズグロカモメ 190羽
ツクシガモ 240羽
ホウロクシギ 18羽
オバシギ 14羽
オオハシシギ 12羽
ツルシギ 14羽
オオソリハシシギ 54羽



トピックス

東よか干潟ガイダンスルームに「来訪記念スタンプ」が登場しました。ぜひ東よか干潟にお越しの際は、ガイダンスルームにお立ち寄りください。



今回の一枚



東よか干潟では、春を迎え盛んに活動をする、ムツゴロウ漁が行われています。ムツゴロウ捕りは、押し板

(潟スキー)を使い、ムツゴロウの巣穴に筒状のタカッポを200~300本差し込んで置き、一定の時間を置いてからタカッポの中に入っているムツゴロウを回収してまわる漁法です。

5月はムツゴロウの繁殖期を迎え、ムツゴロウの求愛ダンスを観ることができます。是非観に来てください！！



観察会・関連行事のお知らせ

●東よか干潟ボランティアガイド第2期養成講座開講式(受講者向け行事)

日時: 5月13日(土) 9:30~11:00
場所: 東よか干潟ガイダンスルームほか

●東よか干潟野鳥観察会(佐賀市)

日時: 5月14日(日) 9:00~
場所: 佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
担当: 日本野鳥の会佐賀県支部 加藤芳隆さん
【見どころ】

東よか干潟が一年で一番賑わう季節です。日本初記録の鳥もこの時期が多い? 皆さん見逃さないように!!

●コスモアースコンシャスアクトクリーン・キャンペーン in 佐賀

日時: 5月14日(日) 9:00~10:40
主催: エフエム佐賀・コスモ石油
場所: 東与賀海岸一帯

●東よか干潟底生生物調査(予定)

日時: 5月26日(金)~27日(土)
場所: 東よか干潟及び東与賀海岸シチメンソウヤード周辺

●平成29年度東よか干潟ラムサールクラブ開講式・第1回活動(クラブ員向け行事)

日時: 5月27日(土) 9:00~12:00
場所: 東よか干潟ほか



肥前鹿島 — 干潟 —

活動状況

- NHK 地域ドラマ「ガタの国から」ロケ全面協力！撮影終了！
「ガタ」・「美肌」・「タイ」をキーワードにした「豪華キャスト」で行われたNHK 地域ドラマ「ガタの国から」は、鹿島市と嬉野市を舞台にロケ撮影を無事に終了しました。ドラマでは「干潟展望館」や「道

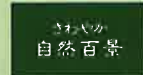


の駅鹿島、「棚シブ」や「ガタリンピック」といった、「鹿島の干潟(ガタ)」関係が数多く登場します。放送は7月19日(水)22:00～・NHKBSプレミアムで全国放送されます！

脚本／八津弘幸(「半沢直樹」・「下町ロケット」の脚本作家) キャスト／上白石萌音(映画「君の名は。」で有名)、ティティ・マハーヨーターラック(タイで大人気俳優)、甲本雅裕、高木 渉、島田洋七、青柳尊哉、高安智実、有森也実、哀川 翔 など

- NHK 自然番組「さわやか自然百景」、「ワイルドライフ」も撮影中！

こちらは自然番組の2本で、肥前鹿島干潟の渡り鳥や、泥干潟のムツゴロウやヤマノカミ、そしてNHK 自然番組では初登場の「ヤベガワモチ」といった有明海の特産種達が登場します。まえうみ市民の会や、鹿島市干潟展望館、鹿島市ラムサール条約推進室、県立太良高等学校生物科学部等のメンバーが撮影に全面協力し、約50日間の長期撮影が行われています。こちらの放送もお楽しみに！ 放送／「さわやか自然百景」NHK 総合7月予定(全国放送) 「ワイルドライフ」NHKBSプレミアム8月放送予定



ヤベガワモチ

- 前海を考えるシンポジウム、「ビゼンクラゲ」の料理ワークショップが開催されました。

佐賀大学低平地沿岸海域研究センター主催の催しが3月に行われました。前海を考えるシンポジウムは今回で5回目、ラムサール条約登録3湿地(荒尾・東よか・鹿島)での活動状況を、3湿地の活動団体から紹介頂きました。ビゼンクラゲのワークショップでは、ビゼンクラゲの「お菓子」、「稲荷寿司」などの「新しい、斬新な」料理が登場し、普段とは変わった「楽しく食べて学ぶ」ワークショップとなりました。



- 「肥前鹿島干潟クリーンアップ大作戦」大成功の開催

ラムサール登録湿地と市内各地の水辺を市民一斉で清掃する「クリーンアップ大作戦」が、3月5日開催されました。参加者は予想をはるかに上回る1500名(報道発表)肥前鹿島干潟のロゴが入った専用ゴミ袋と軍手であっという間に各所が一掃されました。また、肥前鹿島干潟見晴らし台に新しく設置された大型望遠鏡と案内図の除幕式も同日行われました。



野鳥飛来状況

春になりシギ・チドリが渡りがそろそろ本格化してきました。例年ですと4月20日ごろよりチュウシャクシギが肥前鹿島干潟で見られるようになります。その数は多い時で、1000羽以上になる時もあります。ズグロカモメはほぼ見られなくなりました。ツクシガモはまだ少数が残っていますがそろそろ旅立っていくでしょう。



観察会・関連行事のお知らせ

- 愛鳥週間 山も海も！よくばりバードウォッチング in かしま

日時：5月15日(月)
集合：8:20 市役所ピロティ ※要申込み
申込み・問合せ：鹿島市役所ラムサール条約推進室
0954-63-3416

- ウナギ塚観察会

日時：5月20日(土)
場所：鹿島市音成川河口
集合：13:00 干潟展望館
ウナギ塚観察会は、5月以降も、7月、9月、11月の土曜日13:00～に各1回実施予定です。
問合せ：まえうみ市民の会 080-6463-2434(代)



- 第33回鹿島ガタリンピック

日時：6月11日(日) 場所：道の駅鹿島
競技参加申込は専用HPより(応募倍率高し!)
当日は祐徳稲荷神社駐車場より無料シャトルバス、もしくはJR 肥前七浦駅特急臨時停車をご利用ください。
問合せ：鹿島ガタリンピック実行委員会
0954-69-8466

- ガタリンピック開催に合わせた「サイエンスラボ」

日時：6月11日(日)
場所：鹿島市干潟展望館(道の駅鹿島隣接)
問合せ：鹿島市干潟展望館 0954-63-1723